

令和元(2019)年度学校評価 評価指標の達成状況

重点目標	評価項目	評価指標(a)	達成状況(b)		全国平均	達成度(b/a×100)	
1 教育内容の充実	分かりやすい講義 (アンケート結果) 大体分かる	80 % (95名)	69名/118名×100 ※前期	58 %	—	72.6%	B
	農業技術検定合格率	3級	14名/21名×100 (21名)	66.7%	56.1%	66.7%	C
		2級	50%以上 (19名)	2名/38名×100	5.3%	22.8%	10.5%
	スマート農業に接する 学生の割合	100 % (118名)	118名/118名×100	100%	—	100%	A
2 入学生の確保	本科 応募者 入学者	80名以上	(推54)+(前15)+(後3)	72名	—	90.0%	A
		80名以上	(推54)+(前14)+(後3)	71名	—	88.8%	B
	定員充足率	88.8%	81.7%				
	ホープンキャンパス参加生徒数	160名以上	第1回 57名 第2回 25名 第3回 44名	126名		78.8%	B
3 進路指導の強化	就農率	60 % (36名)	30名/59名×100	50.8%	50.0%	83.3%	B
	進路決定率	100 % (59名)	57名/59名×100	96.6%	97.8%	96.6%	A
4 研修機能の向上	分かりやすい講義 (アンケート結果) 満足度	80 % (32名)	33名/39名×100 ※未来塾基礎コース	84.6%	—	103.1%	A
	専門研修の 修了生農業従事率	80 % (26名)	27名/32名×100	84.4%	—	103.8%	A

※ 達成度 A : 90%以上 B : 70%以上 90%未満 C : 50%以上 70%未満 D : 50%未満

【全国平均について】

上記表中、「定員充足率」「就農率」「進路決定率」については、全国農業大学校協議会作成の「令和元年度全国農業大学校等の概要」に基づく数値（平成30年度卒業生及び令和元年度入学生の状況）によるものです。

【スマート農業に接する学生の割合について】

農業経営学科：水稲、麦大豆→水位観測システム＋foeas 導入

：露地野菜 →収穫機・定植機（ICT：苗テラス導入）

園芸経営学科

野菜：いちご →気象観測データ収集・複合環境制御 苗テラス導入

：トマト →気象観測データ収集・複合環境制御 スマホによる制御

花き：複合環境制御装置 苗テラス導入

果樹：気象観測データ収集

畜産経営学科：牛群管理システム、個別感知センサー及びカメラ設置によるモニタリング  
（分娩感知センサー（牛温恵）、（発情感知センサー（牛歩））